

科目名	科学と人間生活	学年	2 年生	使用教材	教科書	高等学校科学と人間生活（第一学習社）
		単位数	2 単位（必修）		副教材	なし
学習の目標						
身近な事物・現象に関する科学的な考え方を養い、科学に関する興味・関心を高める。						
科学技術の発展が現在の生活にどう貢献しているかを理解し、今後の科学との関わりについて考察する。						
学習の概要						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	太陽と地球 材料とその利用		太陽系の天体の特徴を理解する。 太陽や月の動き、星座の動きを理解する。 プラスチックの性質や用途について理解する。		教科書、参考資料などを用いて学習する。また、関連動画等の視覚教材も用いる。	
2 学期	材料とその利用 光の性質とその利用		金属の利用と各種金属の性質について理解する。 さまざまな光の性質を理解する。 電磁波の種類とその性質、利用について理解する。		教科書、参考資料などを用いて学習する。また、関連動画等の視覚教材も用いる。	
3 学期	微生物とその利用		身近な微生物の存在を認識し、その発見や利用の歴史などを理解する。		教科書、参考資料などを用いて学習する。また、関連動画等の視覚教材も用いる。	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
授業内容についてよく理解できているか。		授業内容に関して、自分なりに考えたり、表現できているか。		積極的に授業に参加し、課題に向き合っているか。		
定期試験 プリント等提出物		定期試験 プリント等提出物		プリント等提出物 授業態度等		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度　＝　1　：　1　：　1						
担当者からのメッセージ						
身の回りのいろいろなものに疑問や関心を持ち、そのしくみや法則を考えます。 物理・化学・生物・地学と、いろいろな分野が入った科目なので、自分の好きなテーマや得意な分野を探してみましょう。						

科目名	生物基礎	学年	3 年生	使用教材	教科書	高等学校新生物基礎（第一学習社）
		単位数	2 単位（必修）		副教材	なし
学習の目標						
生物や生物現象について、理科の見方・考え方を働かせて理解する。 生命を尊重し、自然環境の保全について考える姿勢を身につける。						
学習の概要						
学期	学習内容		学習のねらい		学習方法	
1 学期	生物の共通性 哺乳類の分類 生物とエネルギー 植物について（野菜と果物） 遺伝情報と DNA		生物の多様性と共通する特徴を理解する。哺乳類の特徴と種類を理解する。生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。野菜と果物を植物として捉える。DNA の構造と半保存的複製を理解する。		教科書、参考資料などを用いて学習する。また、関連動画等の視覚教材も用いる。	
2 学期	遺伝情報とタンパク質の合成からだの調節と情報の伝達 免疫		タンパク質は多数のアミノ酸がつながって出来たものであることを理解する。恒常性について理解する。免疫のしくみについて理解する。		教科書、参考資料などを用いて学習する。また、関連動画等の視覚教材も用いる。	
3 学期	植生と遷移 生態系とその保全		植生と環境との関係を理解する。生態系の構成について理解する。		教科書、参考資料などを用いて学習する。また、関連動画等の視覚教材も用いる。	
観点別評価規準および評価方法						
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
授業内容についてよく理解できているか。		授業内容に関して、自分なりに考えたり、表現できているか。		積極的に授業に参加し、課題に向き合っているか。		
定期試験 プリント等提出物		定期試験 プリント等提出物		プリント等提出物 授業態度等		
観点別評価の割合 知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学習に取り組む態度 ＝ 1 ： 1 ： 1						
担当者からのメッセージ						
身の回りにいる生き物や自分の体について、その現象やしくみを考えます。 当たり前に思えることでも、長い時間や絶妙なバランスの上で成り立っていることがあります。生き物とそれらが起こす現象のおもしろさを感じてみましょう。						